



## 外国出張報告書

平成 26 年 9 月 17 日

1. 出張国名        マレーシア
2. 出張月        平成 26 年 6～8 月
3. 出張目的        木材資源回復に係る環境要因と経済評価データの収集

#### 4. 成果の概要

エンリッチメント植栽木の生残と成長に関わる環境要因の調査と解析を行ったところ、植栽区が大きいほど *Shorea curtisii* 植栽木は生残しやすく、成長しやすかった。

一方で急傾斜地であるほど、植栽木の成長が落ちる傾向にあった。

伐採履歴の異なる複数の択伐林について森林の被覆割合を測定したところ、現存量が多い林分は森林被覆割合が高い傾向にあった。

エンリッチメント植栽の経済評価のために現地の文献からコスト、ベネフィット情報を収集したところ、4つのシナリオと複数の解析項目を整理することができた。

また、2樹種の木材の市場材価の動向を把握した。